

世界の家のつくりについて考えよう

小学3年 国語

「人をつつむ形—世界の家めぐり」
資料の活用・読書活動

ねらい

○世界の家のつくりに興味を持ち、文章や写真、絵から読み取ったことを整理し、いろいろな家のつくりについて考えることができる。

学 習 展 開

- ① 世界のいろいろな形の家の写真を見て、家のつくりについて興味関心をもつ。
- ② 家の内部や住んでいる人々の生活の様子を表した絵を見て気づいたことを話し合う。
- ③ 写真や絵、教材文に書かれた文章を整理して、いろいろな家のつくりについて考えたことを話し合う。
- ④ 本単元でのねらいをもとに、学習したいことを発表し、単元の学習課題を組み立てる。
- ⑤ 世界の家のつくりについて書かれている本のブックトークを聞き、興味をもった本を読み進める。



写真と絵をもとに、家の工夫や人々のくらしについて考えた

★指導のポイント

- ◆ 本時は、単元の導入の学習なので、世界の様々な家のつくりの写真や絵を紹介し、児童の興味関心をもたせながら、学習課題設定に向かうものとした。
- ◆ 一つの地方の家のつくりに対し、複数の資料があるので、いろいろな資料を見て調べる楽しさを紹介する。
- ◆ 資料は、写真や絵がたくさん紹介されているものを準備した。学習では、世界地図と家の写真・絵を結び付け、提示した。

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書・司書教諭は、担任と相談して、世界や日本の家について書かれている資料の準備を行う。
- 学校司書は、学習で使われる資料を、単元に入る一週間前には教室に届け、児童が自由に読めるよう環境を整える。
- 司書教諭は、本単元の導入の学習でT1として関わり、世界のいろいろな形の家の紹介、ブックトークを行う。

資料

「世界あちこちゆかいな家めぐり」(福音館書店)「地球生活記」(福音館書店)「民族衣装絵事典」(PHP 研究所)「手で食べる?」(福音館書店)「世界の住まい大図鑑」(PHP 研究所)「こんな家にすんでたら」(借成社)「写真から学ぼう国際理解 世界の家」6巻(ほるぷ出版)